



被災地でのはたらき方を体験しよう!

東日本大震災から5年、課題先進地とも呼ばれる被災地ではあたらしい挑戦がたくさん生まれています。被災地は「ボランティアの場」から「自身が成長する場」に変貌しつつあります。そんな被災地に滞在しながら学べるプログラムについて参加者の声、仕掛け人の声をお届けします。

プログラム①：復興支援インターン参加学生報告会

復興大学ボランティアステーション主催（復興庁宮城復興局共催）の復興支援インターン参加学生による情報発信活動の報告会を実施します。（発表予定：敬和学園大学、千葉商科大学、東北学院大学、名古屋学院大学、立命館大学ほか）

プログラム②：今年度の滞在型プログラムの説明会

今年度、復興庁が実施する被災地滞在型プログラムについての説明会を実施します。

プログラム③：トークセッション 東北のあたらしいキャリア論。

被災地で滞在型プログラムを仕掛ける仕掛け人たちのお話を聞きます。（詳細は裏面）

moderator!



×



×



×



×



植原正太郎
(グリーンズ)

黒沢惟人
(wiz)

白川佑希
(アスヘ)モボウ

島本幸奈
(フィッシャーマン
・ジャパン)

小林峻
(まるオフィス)

プログラム④：滞在型プログラム大相談会

トークセッションの登壇者がご自身の所属団体にて実施している被災地滞在型プログラムについて、詳しくお話を聞ける時間を設けます。

6/18 (SAT) 10:30- アーツ千代田3331 入場無料

問合せ 復興庁宮城復興局 (青砥) 022-266-2250

東北のあたらしい キャリア論。



東日本大震災以後、東北に移り住み、独自のキャリアを築く若者たちの話に耳を傾け、震災以降の「あたらしいキャリア」について考えてみませんか?
(終演後にゲスト登壇者による被災地での体験プログラム相談会開催)

moderator!



植原正太郎 (NPO法人グリーンズ) モデレーター

1988年仙台市生まれ。しかし、転勤族の家庭で育ったため地元がない。2014年10月からウェブマガジン「greenz.jp<<http://greenz.jp>>」の寄付会員制度「greenz people」を担当し、日本初の寄付型メディアづくりに挑戦中。ライフワークとして東京の武蔵小山で「風邪で倒れた時にお粥を届けよう」助け合いの地域コミュニティづくりに励む。



黒沢惟人 (NPO法人wiz)

1986年岩手県奥州市生まれ。岩手県立大学ソフトウェア情報学部卒業後、上京し、SCSK(株)でシステムエンジニアとして働く。2012年1月からNPO法人ETIC。右腕派遣プログラムを通じて、Uターンし、複数の復興事業の立ち上げ、運営に関わる。2014年4月に震災後にUターンした同世代5人でNPO法人wizを設立し、専任となる。法人運営、事業構築・実施を担当。



白川佑希 (NPO法人アスヘノモボウ)

東京都生まれ。東京大学大学院国際協力学専攻修士課程を修了後、国際協力系のコンサルタント会社に勤務。2014年4月から1年程スーダンに滞在し、紛争後地域の基本行政サービス能力向上のためのODAプロジェクトに従事。その後アフリカ10カ国を見て回る。2015年11月よりNPO法人アスヘノモボウにて移住促進事業を担当。



島本幸奈 (一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン)

1991年千葉県君津市生まれ。宮城県石巻市での移住生活6年目。漁業をカッコよくて、稼げて、革新的な「新3K」にすることを旨とする。一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンに立ち上げから関わり、海と共に生きる男達の中で、担い手育成事業、情報発信や個人向け販売、交流イベントなどに携わり水産業の魅力を全国に発信している。自分が感じた漁師たちのカッコよさと彼らのつくる海産物の美味しさを、ひとりでも多くの人に届けるために日々奮闘中。



小林峻 (一般社団法人まるオフィス)

1988年東京都八王子市生まれ。多摩大学グローバルスタディーズ学部卒業。大学時代の4年間、NPO法人ETICにてインターン。創業支援プログラムや、大学生のキャリア支援などに従事。2011年11月、ETIC。右腕派遣プログラムを通して気仙沼に関わる。2013年1月より、同市内でのコミュニティカフェの立ち上げと現場責任を担う。2015年から現職。

6/18 (SAT) 10:30- アーツ千代田3331 入場無料

復興支援インターン参加学生による成果発表、平成28年度復興庁インターン事業説明会同時開催!!

問合せ 復興庁宮城復興局(青砥) 022-266-2250